

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	放射線腫瘍学(Radiation Oncology)		
ナンバリングコード	S20225	大分類 / 難易度 科目分野	保健医療学科 / 標準レベル / 診療放射線学
単位数	1	配当学年 / 開講期	2 年 / 後期
必修・選択区分	コース必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	S004651	クラス名	-
担当教員名	相川 久幸		
履修上の注意、 履修条件	診療放射線学コースの学生は必ず履修すること。		
教科書	放射線腫瘍学(医歯薬出版株式会社、2020)		
参考文献及び指定図書	放射線治療学(改訂6版)(井上俊彦他編、南山堂、2017) 放射線治療科学概論(改訂第2版)(渡部洋一他、医療科学社、2018) 放射線治療計画ガイドライン2020年版(第5版)(日本放射線腫瘍学会編、金原出版、2020)		
関連科目	放射線生物学、放射線治療技術学1、放射線治療技術学2		

○基本情報		
授業の目的	1.癌治療における放射線治療の果たす役割を理解し、どのような病巣に放射線治療が行われて、どのような照射方法が用いられどのような効果や副作用があるのかを説明することができる。 2.癌がどのように発生・増殖・進展し、転移・再発するかを理解し、それに基づいて、いかなる各種癌治療が行われているかを理解し、癌の性質と動態、癌医療の概念と基礎理論に関して説明できる。	
授業の概要	癌がどのように発生・増殖・進展し、転移・再発するかを理解し、それに基づいて、いかなる各種癌治療が行われているかを幅広く総合的に把握することを目的とする。また、癌の性質と動態を理解し、癌医療の概念と基礎理論に関して生命科学の観点から理解する。日本人の3大死因を占める癌に対する医療に関して、その科学的基礎は診療放射線技師にとって必要不可欠な基礎医学となることから、癌の診断・予防などの医療も含めて、その基礎理論と概念に関して生命科学の視点から理解と知識を深める。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー1】				
【ディプロマ・ポリシー2】	②幅広い教養と倫理観を基盤として、診療放射線学、臨床検査学、臨床医工学のいずれかの専門分野に関する医療技術の知識と技能を修得できている。	80点	20点	
【ディプロマ・ポリシー3】				
【ディプロマ・ポリシー4】				
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
期末テストは100点満点で行い、80点満点に換算する。 課題のレポートは内容により評価し、提出時期の遅れや未提出は減点する。 成績に関し期末試験80点+課題評価20点で行い、60点以上を合格とする。 課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行う。				

○その他
課題の配布およびレポートによる報告はクラスルームなどを利用して行う。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名 担当教員	放射線腫瘍学(Radiation Oncology) 相川 久幸	授業コード	S004651
学修内容					
1. 総論					
癌の総論的な臨床診断、経過、治療の概要など、「生物学」「病理学」や「放射線生物学」などで学んだことを復習しながらがんの基礎を学修する。また細胞周期とがんの発生機序、組織分類や放射線治療の効果について「放射線生物学」などで学んだこと復習しながらがん、放射線治療の基礎を学修する。					
予習		シラバスの内容を確認し、講義内容について予習しておく。			約2時間
復習		講義で学んだ知識を整理し、復習する。			約2時間
2. 有害事象					
放射線治療の副作用(有害事象)について知っておくべきことやその対策について学修する。 また、緩和療法としての放射線治療における、適応疾患、目的、治療方針、照射方法、効果、副作用について学修する。					
予習		講義内容について予習しておく。			約2時間
復習		講義で学んだ知識を整理し、復習する。			約2時間
3. 頭頸部腫瘍					
脳・脊髄腫瘍および頭頸部腫瘍の放射線の治療方針、照射方法、効果、副作用について詳細を学ぶ。					
予習		講義内容について予習しておく。			約2時間
復習		講義で学んだ知識を整理し、復習する。			約2時間
4. 肺癌・縦郭腫瘍					
肺癌および縦隔腫瘍の放射線治療の治療方針、照射方法、効果、副作用について詳細を学ぶ。					
予習		講義内容について予習しておく。			約2時間
復習		講義で学んだ知識を整理し、復習する。			約2時間
5. 乳癌・消化器癌					
乳癌・乳腺腫瘍および消化器癌放射線治療の治療方針、照射方法、効果、副作用について詳細を学ぶ。					
予習		講義内容について予習しておく。			約2時間
復習		講義で学んだ知識を整理し、復習する。			約2時間
6. 悪性リンパ腫など					
悪性リンパ腫・血液腫瘍および皮膚・軟部・骨腫瘍の放射線治療の治療方針、照射方法、効果、副作用について詳細を学ぶ。					
予習		講義内容について予習しておく。			約2時間
復習		講義で学んだ知識を整理し、復習する。			約2時間
7. 小児腫瘍					
小児腫瘍および良性腫瘍に対する放射線治療の治療方針、照射方法、効果、副作用について詳細を学ぶ。					
予習		講義内容について予習しておく。			約2時間
復習		講義で学んだ知識を整理し、復習する。			約2時間
8. 化学放射線療法					
がんの治療における化学放射線療法など集学的がん治療について、その適用、有効性、有害事象などについて学修する。					
予習		講義内容について予習しておく。			約2時間
復習		講義で学んだ知識を整理し、復習する。			約2時間

○授業計画	科 目 名	放射線腫瘍学(Radiation Oncology)	授業コード	S004651
	担当教員	相川 久幸		
学修内容				
9. 期末試験				
予習				
復習				
10.				
予習				
復習				
11.				
予習				
復習				
12.				
予習				
復習				
13.				
予習				
復習				
14.				
予習				
復習				
15.				
予習				
復習				
16.				
予習				
復習				